

平成 29 年度の教育行政について

津市教育委員会

平成 29 年度の予算編成に向けて、現在策定中の「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（案）」を踏まえた施策の展開を図るとともに、施設整備にあたっては、津市公共施設等総合管理計画（案）に基づいた整備を基本とします。

《平成 29 年度小中学校教職員人事配置の考え方について》

1 人事配置の基本

- 小中一貫教育を念頭に置いた、全市的な視野に立った人事異動に努め、教育の振興を図る。
- 小中 9 年間を見通した特色ある学校づくりの実現のために、校長の経営方針を尊重した人事に努める。
- 教職員の人材育成に向けた人事異動に努める。
- 各学校の課題解決に向けた教職員の適正配置に努め、指導体制の充実を図る。

2 努力事項

- 小中一貫教育推進のため、校種間の人事交流を積極的に行う。
- 同一校における長年月勤務者の転任を積極的に行う。
- 各学校の教職員の年齢構成や男女比について、適正化に向けた人事を行う。
- 教育実践に対する本人の意欲も考慮した適材適所の人事異動を行う。
- 新規採用教職員を積極的に登用する。
- 津・松阪地域内の市町間交流の促進を図る。

《平成 29 年度予算編成に向けた重点施策》

1 「津市教育振興ビジョン」の策定

「大綱」に予定される 3 つの視点をベースにした学力向上のための施策を始め、市長部局と連携した社会教育施策や文化財保護行政の目指す方向性を明確にするため、「津市教育振興ビジョン」の平成 29 年度策定を目指します。

2 自らの力で将来を生きぬいていくために必要な学力の向上

子どもたちが、自らの力で将来を生きぬいていく確かな学力の向上を図るために、「大綱」に

沿った「教員が子どもたちと向き合う時間の確保」の視点から、平成28年度に策定した「授業改善マニュアル」や「家庭学習マニュアル」による体系的な授業改善に取り組みます。

- 事務業務(校務支援)システム構築への取組
- 次期指導要領改訂に伴う小学校における英語教育導入への対応
- 小中一貫教育の推進（「みさとの丘学園」の体制整備）
- 各校研究事業推進への支援
- 特別支援教育への支援
- 中学校部活動の休養日設定や土曜活動の柔軟化

3 幼児教育の推進

次期指導要領改訂に対応した幼児教育課程の明確化に加え、平成30年度の幼保連携型認定こども園の開園に向けた福祉部門と連携の図られた幼児教育の推進を図ります。

4 学校施設環境の整備促進

大規模改造事業の継続的な推進をはじめ、中学校へのエアコン整備と小学校の設計、トイレ改修事業、給食施設の整備、維持工事事業等を推進します。

5 教育研究所機能の充実

教育委員会庁舎の整備に合わせて、美里の教育研究所事務所機能を新庁舎に統合します。

その上で、平成29年4月から現行の教育研究所機能を拡大し、大学連携機能や幼児教育推進機能、また、学校サポートセンター機能の拡充を図ります。

6 放課後児童クラブへの支援と公民館と連携した「家庭教育」の推進

放課後児童クラブへの支援を図るとともに、学校教育と連携しながら公民館における「家庭教育」の推進を図ります。